

## 北部ケニア干ばつレジリエンス通信 (2012年9月号)

今月のトピック: ① 9つのパロトコミュニティに対し、CMDRR(Community Managed Disaster Risk Reduction)ワークショップを実施しました。参加者は各コミュニティで約30-40名程でした。② 対象2県における地下水水位/水質調査の一環として、各県5カ所・計10カ所に連続水位観測用のデータロガーを設置しました。今後6カ月に亘って継続的に地下水の観測をする予定です。



### データロガーの設置(ルルバ ン南郡Maikona)

地下水水位の連続観測用データロガーを設置。遠隔地の為、盗難防止用に鋼製カバーを作成し観測井戸を保護する形としました。



### 乾期放牧地の現地現状調査(ルルバ ン南郡Ngurunit)

季節河川脇に設けられた浅井戸とその水を飲む家畜。Ngurunitは乾期でも浅井戸に水がある為、乾期に家畜が集まります



### アビカム採取地の調査(ルルバ ン南郡Ngurunit)

アビカムはアカアセガルから採取される天然樹液。食品用の乳化剤の他、印刷機のインクの原料としても使われ、需要が高い商品。



### CMDRRワークショップ(ルルバ ン南郡Ngurunit)

9パロトコミュニティにおいて、CMDRR(Community Managed Disaster Risk Reduction : コミュニティベース災害リスク削減)ワークショップを実施。



### CMDRRワークショップ 風景(ルルバ ン南郡Kalacha)

ワークショップでは、ハザード分析→脆弱性分析→キャパシティ分析→コミュニティアクションプランが参加者自身によって実施策定されました



### CMDRRワークショップ 風景(ルルバ ン南郡Korr)

参加者が自分の村の資源についての状況を纏め、リソースマップを作成しました。写真はKorr村での様子。